



地域運営学校 「学ぶ・鍛える・思いやる」

# 自主の庭

八王子市立城山中学校 学校だより

令和7年8月 第5号

## 2学期始業式の話（抜粋）

校長 田野倉 教泰

学校教育の目的は、将来の社会的・経済的自立に向けて、自分自身の良さや可能性を集団の中で伸ばすことです。

2学期はこの目的達成に向けて、「まず、やってみる」「失敗から学ぶ」をキーワードに、挑戦・機動力・積極性をもって学校生活を送ってください。

そして、先生方の今学期の重点として、教科指導と生徒指導の改善充実をお願いしました。あなたとの日常的な関わりをとおして、「まず、やってみる」「失敗から学ぶ」を支え、あなたの良さや可能性を伸ばします。

また、失敗から学ぶといいましたが、場合によっては、先生はあなたの失敗に対して叱ることもあります。しかし、先生は一時的な感情であなたを怒るということではありません。あなたのこれから先の成長に向けて、失敗は失敗として受け止めることで次への一歩につながっていくという意味を込めて、あなたに向き合います。

さらに、成長という点で、失敗を勝負の負けに置き換えてみます。今年の夏も、私はいくつかの運動部活動の応援等に出かける機会がありました。何よりも、選手が真摯に取り組む姿からは元気を分けてもらうような気持ちになるものです。本校でも、都大会に出場した生徒が何人かいました。本人はもとよりチームとしても頑張ったのですが、残念ながら積重ねてきたことを発揮することができずに1回戦で負けてしまい、思いが溢れて涙を流していました。また、今年は関東大会に携わる機会もあったのですが、個人戦で準優勝をしたのに涙を流していた選手もいました。どちらも勝利を目指して日々の稽古に臨んできたことに変わりはなく、涙から次の成長に向けた何かを学ぶことができて、なおかつ日々の稽古を含めた生活に反映することができれば、それは次への成長につながる涙だと受け止めています。

さて、2学期が始まりました。スタートダッシュをしたり徐々にペースを上げていったりと、それぞれの取り組み方で学校生活のリズムに合わせていってください。

そのなかで、どうもうまくいかないであるとか不安やモヤモヤするものを抱えるようなことがあれば、すぐに相談をしやすい先生に申し出てください。1学期もSOSの出し方を学んだり、悩みや不安があったりしたら信頼できる大人3人に相談しようという話をしてきました。このように、あなたからサインを出すということについて積極的に取り組んできましたが、今学期のスタートに当たり、先生方には今まで以上に「あなたのサイン」をキャッチするための感度を上げるよう指示をしました。

長い2学期になりますが、1学期の終業式で話をしたように10月後半に入ったあたりから発現してくるであろう、あなたの成長を楽しみにしています。

## 令和9年度修学旅行の行程に広島を追加することについて

夏季休業期間に入ってからでなおかつ短期間ではありましたが、保護者の皆様からアンケートへの御回答並びに貴重な御意見をいただきましたことに感謝申し上げます。以下のとおり、アンケートの集計結果と教職員の意見も含めて総合的に判断した結果をお伝えします。

なお、今回の経緯につきましては、今後の教育活動の改善・充実に向けて学校運営協議会で協議をしてまいります。

### 1 結論

- (1) 修学旅行に広島を加えることは「時期尚早」と判断し、令和9年度は従来どおり奈良・京都方面とします。

### 2 理由

- (1) 移動距離が増えることと広島平和記念公園隣接地に宿泊する必要があることに伴う、「費用高騰への対応」が整わないことです。

### 3 考察等

アンケートには肯定的回答が多く、これは行程の改定を目指した趣旨への御理解であるとは大変心強く感じましたが、結果的に御期待に応えることはできませんでした。理由のとおりに、費用対応に関する具体的対応が十分でなかったことは今後の対応課題とします。

このことから、標準服改定に伴うボトムスの夏冬兼用品導入を進めましたが、指定品でない私費教材の標準化推進や、3年間（小学校から数えますと9年間）を見通した校外学習・宿泊行事のあり方を含めて、保護者負担経費の見直しをさらに進めてまいります。

また、移動に関わる時間の長さや見学地での滞在時間の短さに対する御心配もいただきましたが、移動中の企画や学習内容の焦点化等の工夫で対応ができると考えています。

さらに、本校では、戦後80年を契機として「記憶の伝承」という視点からの平和教育を段階的に進めていくこととしています。

なお、今回の修学旅行の行程に広島を加えることへの是非につきましては、諸課題への対応を進めた上で機会を改めようと考えています。

今後とも、本校の教育活動に対する一層の御理解と御支援をお願いいたします。

